

## 第24回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時：令和3年5月21日（金）

午前10時30分～午前11時30分

場所：もんぜんぷら座3F 304会議室

出席委員：7名

竜野委員、金澤委員、越原委員、塚田委員、石川委員、柳瀬委員、吉川委員

欠席委員：0名

- 1 開会
- 2 長野市都市整備部長あいさつ
- 3 委員の委嘱、委員長・副委員長の選任について  
・委員長に竜野泰一委員、副委員長に金澤玲子委員を選出
- 4 議事  
資料の確認

長野市中心市街地活性化プランのフォローアップについて

資料1 説明：事務局

| 発言者 | 発言内容  |
|-----|---|
| 委員  | 意見というより感想であるが、コロナ禍、異例の年であり、評価するのは難しい。目標1.3（歩行者・自転車通行量）について、9月までは本当に人が少なかった。10月になるとGoToトラベルの影響か、中央通りもマスクをした多くの人が善光寺の方へ上がっていく様子が見られた。人の動きがガラッと変わった。通行量調査の日程の9月と10月を比べると、当然数値の違いはあったのではないか。会議なども9月までほとんど無かったので、目標4は妥当ではないか。  |
| 事務局 | コロナウイルスの第2波が終わったのが9月末。その後GoToトラベルを利用し10月に人出は一時的に増えたようである。   |
| 委員  | 歩行者・自転車通行量の関係で、権堂・南千歳町で大幅に減少した。権堂についてはイトーヨーカ堂が閉店していたため、減少して当たり前ではないか。南千歳・駅前広場歩行者専用デッキについては、こんなに減少してしまうのは困る。にぎわいを出していかなければならない長野駅前がここまで落ちてしまうのは怖いこと。地域の現状を捉えながら今後計画を進めていただきたい。また一年先に延期された須坂市のイオンモールについて、イオンモールがオープンすると、長野駅前に車で来ていた人はパタッと来なくなってしまう。居住の環境であったり、歩いて楽しいまちづくりをぜひお願いしたい。 |
| 委員  | 目標4の「交わりたくなるまち」などについて、現況を及び今後を鑑みると、人口に対しての目標値が少し高いので、見直しの必要はないか。（長野市の人口36～38万人に対して目標値58.3万人）  |
| 事務局 | 5年間の計画が満了となるため、今後の検討とさせていただく。   |

## 5 その他報告事項

### 長野中央西地区市街地総合再生基本計画について 説明：事務局

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>目標にある“住みたいまちの実現”について、駅前に本当に住みたいまちを作った方がいいのか。</p> <p>駅前に日常（日用品）は必要ない。駅前は研ぎ澄まされたファッション性であるとか、魅力あるまち、先進的な商品を取り扱っていかないと生き残るのは難しい。駅前は長野の顔。県都長野市として何とかしなければならない。</p>   |
| 事務局 | <p>目標の“住みたいまちの実現”は72ha全体（中央西地区）での目標である。</p>   |
| 委員  | <p>駅前に住みたいニーズはあると思う。駅前はどこの地方都市も画一的になってしまっている指摘も多い。商業施設の充実が必要であるが、他地域と同じである必要は無い。建物の高さを低層で整えるなど長野らしい特徴があるといい（東京・大阪と同じようなものは不要）。</p> <p>アンケートのクロス集計データがあるといい。それを参考にしていく。</p> <p>善光寺へ上がって行って、善光寺から見下ろす所が減ってきた。善光寺エリアから（市街地を）眺められる所（視点場）があるといい。</p> <p>中央通りが整備され歩きやすくなったが、歩道上の電気関係設備が目についてしまう。道路法・管理上難しいかもしれないが、歩道に設置されている設備（トランス）などにカバーのような物を掛けて子供が登ったりして遊べるような物になると歩いていて楽しいまちになるだろう。また、店舗の前の空間を活性化出来るのではないか。</p> <p>にぎわいの創出は必要であるが、混み合いの印象に至ってしまうとよろしくない。にぎわっていて楽しい、行きたくなる混み合いの感覚を掴んでおくといいかなと思う。</p> <p>空き店舗について、1階の空き店舗の状況であるが、2階の空き店舗を埋めるために、1階の空き店舗を借りるメリットなどを考えていくと解消されるのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>4つの視点（暮らし・交通・景観・産業）からまちづくりを考えています。門前町らしいまちづくり、景観や産業を踏まえて検討していきます。</p> <p>概要版なので本日の資料には掲載していませんが、クロス集計はしている。</p> <p>ウォークブル・ほこみち制度などを考慮しつつ、歩道の有効利用など検討していく。</p>  |
| 委員  | <p>資料にある事例の場所が遠い。県内や近隣市町村で、規模が小さくても参考になる、刺激を受けるような事例を載せた方が励みになるのではないか。</p>  |
| 事務局 | <p>今回の事例に限らず、事例は見に行ける所にした方がいいという意見は</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | 出ているので、参考にさせていただく。   |
| 委員  | <p>長野駅周辺などでイベントをやっているが、見上げる場所（ステージ）でのイベントが多い。他市では見下ろす場所が多く、そういった所でイベントをやっている（見下ろした方がよく見える）。</p> <p>駅前のペデストリアンデッキ下を車路にしないで、イベントスペース・広場があったら良かったのではないかな。</p> <p>善光寺に向かって行く途中にセントラルスクウェアがあるので、セントラルスクウェアを今後うまく利用出来ればいい。</p> |
| 委員  | <p>コロナウイルスにより、暮らし方・価値観・働き方が大きく変わってしまった。首都圏の人口流出は今後進んでいく。魅力発信の中で、地方都市にとって文化性の発信が大きなものになっていく。基本戦略の中に“文化”の柱を考えていってほしい。</p>  |
| 事務局 | 検討させていただく。   |

令和3年度の長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会の開催について 説明：事務局

閉会